

令和5年度 三次市立川地小学校だより



高こうし志

よく考える子
かかわりあう子
自ら行動する子

学校教育目標：ふるさとを愛し、夢の実現に向けて主体的に行動する児童の育成

「デジタルとアナログ」「不易と流行」

《No. 9》
令和5年12月8日

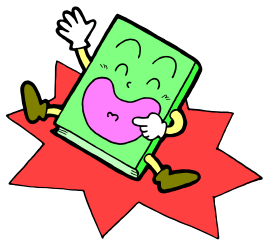
12月になり、一気に寒さがやってきました。インフルエンザも流行しており、子どもたちの健康についても、より一層の注意を喚起しているところです。

さて、この学校だよりでずっとお伝えしてる「表現力」について、最近の子どもたちの学習の様子から感じることを少しまとめてみます。

国のGIGAスクール構想のもと、子どもたち一人一人にタブレット端末が支給され、さまざまな場面で活用しています。例えば、自分の考えを付せんにメモをするように書き込みを行い、それらをつなぎ合わせて作文を完成させていきます。文章の入れ替えや修正も「デジタル」ですので一瞬のうちにを行うことができます。また、分からないことがあればすぐにインターネットにつないで検索し、調べることもできます。文章だけではなく、動画や音楽なども取り入れて委員会の発表にもしています。（10月に行った学習発表会でも、多くの学年でこうした活動を経て発表内容を創り上げていました。）



「デジタル」の活用によって、自分の考えをまとめやすくなったり、表現の幅もより広がったりしています。



一方、こんな学習をしている学年もありました。国語の学習で、おすすめの本の紹介文を1枚の紙にまとめて、友達に紹介していくという活動です。自分のおすすめポイントを箇条書きにしたり、字の大きさを変えたり、レイアウトを工夫したりして、本の魅力を伝えようと工夫していました。「今は生成 AIがあるから、本の要約なんてすぐできるのでは？」という考えも出てくるかもしれませんが…。まずは自分がその本を読み、どこを伝えていけばいいのかを見つけていかないと、その人らしさは生まれてこないのではないのでしょうか。ここで必要なのは「デジタル」の力ではなく、地道に作業していく「アナログ」の力なのだと思います。

「不易と流行」という言葉を、研修会や講演などで聞くことが増えてきました。時代の変化に合わせて新しいものと取り入れていくことと、時代の変化にとらわれることなく大切にしていきたいことを両立させていく教育実践を積み上げていきたいと、改めて思い直しました。

川地地域を支える一員として…

先月19日(日)に「川地ふる里まつり」が開催され、5・6年有志が「キッズソーラン」を披露しました。運動会以来でしたので、事前に少し練習もして臨みましたが、会場のみなさんから大きな拍手をいただき、アンコールも受けて2回踊りました。子どもたちもみんな満足した顔でステージを降りたあと、それぞれまつりの会場へと移動して楽しんでいたようでした。



このまつりの準備を18日(土)に行ったのですが、それまでいい天気が続いていたのにこの日は雪が降ってしまいました。テントを立てる予定でしたが、水びたしになったグラウンドにそのまま立てることができず、実行委員のみなさんで水取りから始めて会場整備をしていきました。「川地ふる里まつり」が成功裏に終えることができたのも、実はこうした地域のみなさんの支えがあってこそなのです。

学校教育目標に「ふるさとを愛し…」と掲げていますが、こうした地域行事を通して、子どもたちも感じる部分があるのではないのでしょうか。学校だけではなく、地域のみなさんの力もしっかりといただきながら、「ふるさと」を大切にできる子どもたちを育てていきたい、また、自分も川地地域を支える一員となっていきたい、と改めて感じることもできた「川地ふる里まつり」でした。

今後の予定



12月

- 12月21日(木) ふれあい相談日
- 12月22日(金) 2学期終業式
- 12月23日(土) 冬季休業開始
(1月8日まで)
- 12月26日(火) 学期末個人懇談会
- 12月28日(木) 給食費集金日(口座)

12月29日～1月4日は学校閉庁となります。

1月

- 1月 9日(火) 始業式
- 1月11日(木) 三次市学力到達度検査
- 1月12日(金) 三次市学力到達度検査
- 1月19日(金) 集金日
- 1月26日(金) 授業研究(2年)
6年PTC

